

ドライバーも歩行者も 夕暮れ時・夜間の交通事故防止

夕暮れ時や夜間は視界が悪くなるため、歩行者や自転車などの発見が遅れがちです。死亡事故のリスクも高まります。速度感が鈍り速度超過になりがちですので、昼間より速度を落として慎重に運転するとともに、次のことを心がけましょう。

■ライトの早め点灯

ライト上向きの原則。こまめな切り替えをしましょう。

■夜間は横断者が見えないことがあります。コンビニなどの明るい照明の店舗の近くでは、照明

に目がくらみ付近の暗がりを判断する歩行者や自転車を見落とす危険があります。速度を落とす危険があります。

■蒸発現象が起きることを知っておきましょう。対向車と自車のライトが交錯すると、道路中央付近の横断歩行者が突然見えなくなる危険があります。特に、雨の夜は、注意が必要です。

※歩行者、自転車は、反射材をつけましょう！

地域安全ニュース

「J-Kビジネス」はNO！

「J-Kビジネス」は潜んでいます

近年、都市の繁華街を中心に行き交際によるマッサージ、会話やゲームを楽しむなどの接客サービスを売り物とする営業が見られ、「J-Kビジネス」と呼ばれてています。ト先に見える場合でも、女子高生

などが客から児童買春などの被害に遭うケースが目立つており、安易に働くことはとても危険です。

「J-Kビジネス」による各種トラブルは、#9110（警察安全相談専用電話）または最寄りの警察署へ

かしこい消費者

～知つて防ごう、契約トラブル～

コンビニ払いを悪用する架空請求

「有料サイトの料金が未納で

あり、支払わないと法的手続きを取る」などといった電話やメール等が突然届く「架空請求」に関する相談が増加傾向にあります。これまでの架空請求は、支払い手段としてクレジットカードや銀行振り込みのほか、プリペイドカードの購入を指示するいわゆる「プリカ詐欺」の手口がみられました。

しかし最近では、コンビニの店頭で「支払い番号」を使って料金を支払うコンビニ払い（コンビニ収納代行）の仕組みが詐欺業者に悪用されています。

△トラブルに遭わないために

①覚えのない請求や不審な請求には、返信や連絡をしない

詐欺業者からのメール等に返信したり、電話をかけたりすると、自分のメールアドレスや電話番号等を相手に教えてしまうことにつながります。特にスマホ等からメールを返

信すると、自分の氏名が相手に伝わる設定になっていることがありますので注意しましょう。

②支払番号を伝えられても、決して支払わない

詐欺業者は、電話やメールで支払い番号を事前に伝えるケースだけでなく、コンビニに着いたら電話をかけさせ、その場で支払い番号を伝えるケースもあります。このような方法で支払いを指示された場合は、不審な取引と考えられるので、応じないでください。

③支払った後で、トラブルに気づいた場合には、すぐに支払い時の領収書に書かれている事業者に連絡する

領収書には、詐欺業者がインターネット上で買い物などをしたと思われる事業者名が記載されています。支払ってしまったお金を取り戻すことは困難ですが、事業者によつては何らかの調査をする可能性もあります。同様の被害拡大防止のために、領収書に記載された事業者へトラブルについて申し出ましょう。